

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
【発行日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【公開番号】特開 2017-185802 (P2017-185802A)  
【公開日】平成 29 年 10 月 12 日 (2017.10.12)  
【年通号数】公開・登録公報 2017-039  
【出願番号】特願 2017-65464 (P2017-65464)  
【国際特許分類】

**B 4 1 M 5/52 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 M 5/52 1 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 25 日 (2020.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材とインク受容層とを有する記録媒体であって、  
前記インク受容層が、無機粒子とバインダーと少なくとも 1 種の界面活性剤とを含有し、かつ、  
前記バインダーが、アクリル樹脂、ポリカーボネート変性ウレタン樹脂及びポリエーテル変性ウレタン樹脂からなる群より選択される少なくとも 1 種を含有し、  
前記界面活性剤の少なくとも 1 種が、アセチレン系界面活性剤であり、  
前記インク受容層の表面に水を接触させてから 60 秒後における前記インク受容層の表面に対する水の接触角が、40 度以上 80 度以下であることを特徴とする記録媒体。

【請求項 2】

前記アセチレン系界面活性剤の HLB 値が 10 以下である請求項 1 に記載の記録媒体。

【請求項 3】

前記アクリル樹脂、ポリカーボネート変性ウレタン樹脂及びポリエーテル変性ウレタン樹脂のガラス転移点が 20 以下である請求項 1 または 2 に記載の記録媒体。

【請求項 4】

前記無機粒子が湿式法シリカである請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の記録媒体。

【請求項 5】

前記記録媒体のインク受容層における細孔半径 20 nm 以下の全細孔の細孔容積の合計に対して、細孔半径 7 nm 以上 20 nm 以下の細孔の細孔容積の合計が、25 体積% 以下である請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の記録媒体。

【請求項 6】

前記無機粒子の吸油量が、150 ml / 100 g 以上 240 ml / 100 g 以下である請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の記録媒体。

【請求項 7】

前記無機粒子の BET 比表面積が、380 m<sup>2</sup> / g 以上である請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の記録媒体。

【請求項 8】

前記インク受容層は、さらに防かび剤を含有する請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の記録媒体。

**【請求項 9】**

前記防かび剤の水への溶解度が 1 質量 % 以下である請求項 8 に記載の記録媒体。

**【請求項 10】**

前記防かび剤の平均粒子径が 0.1  $\mu\text{m}$  以上 20  $\mu\text{m}$  以下である請求項 8 または 9 に記載の記録媒体。

**【請求項 11】**

前記防かび剤が、トリアゾール系化合物、ピリチオン系化合物、ピリジン系化合物、ベンゾイミダゾール系化合物、ベンゾチアゾール系化合物、シアノ臭素系化合物、カルバミン酸系化合物、イミダゾール系化合物、及びチアベンダゾール系化合物からなる群より選択される少なくとも 1 種である請求項 8 ~ 10 のいずれか一項に記載の記録媒体。

**【請求項 12】**

前記インク受容層中における防かび剤の含有量が、インク受容層の全質量に対して 0.05 質量 % 以上 3 質量 % 以下である請求項 8 ~ 11 のいずれか一項に記載の記録媒体。

**【請求項 13】**

前記インク受容層中の前記バインダーの含有量が、前記無機粒子 100 質量部に対して、30 質量部以上 100 質量部以下である請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の記録媒体。

**【請求項 14】**

前記インク受容層中の前記バインダーの含有量が、前記無機粒子 100 質量部に対して、50 質量部以上 70 質量部以下である請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の記録媒体。

**【請求項 15】**

前記インク受容層中の前記水溶性樹脂の含有量が、前記バインダーの含有量を基準として 0 質量 % 以上 24 質量 % 以下である請求項 1 ~ 14 のいずれか一項に記載の記録媒体。

**【請求項 16】**

前記インク受容層中の前記水溶性樹脂の含有量が、前記バインダーの含有量を基準として 0 質量 % 以上 20 質量 % 以下である請求項 1 ~ 14 のいずれか一項に記載の記録媒体。

**【請求項 17】**

前記インク受容層中の前記水溶性樹脂の含有量が、前記バインダーの含有量を基準として 0 質量 % 以上 15 質量 % 以下である請求項 1 ~ 14 のいずれか一項に記載の記録媒体。

**【請求項 18】**

前記支持体が、樹脂被覆基材、プラスチックフィルム、またはクロスである請求項 1 ~ 17 のいずれか一項に記載の記録媒体。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】** 明細書

**【補正対象項目名】** 0098

**【補正方法】** 変更

**【補正の内容】**

**【0098】**

(屋外掲示前のかび抵抗性)

上記実施例 15 ~ 24 に係る記録媒体の屋外掲示前のかび抵抗性は、それぞれ、JIS Z 2911 (2010) 付属書 A プラスチック製品の試験方法 A に準拠したかび抵抗性試験方法 (Methods of test for fungus resistance) によって評価した。なお、該かび抵抗性試験方法は、国際規格 ISO 846:1997 に準拠した日本工業規格である。評価基準は以下のとおりである。

0 : 肉眼及び顕微鏡下でかびの発育は認められない。

1 : 肉眼ではかびの発育が認められないが、顕微鏡下では明らかに確認できる。

2 : 肉眼でかびの発育が認められ、発育部分の面積は試料の全面積の 25 % 未満である。

3 : 肉眼でかびの発育が認められ、発育部分の面積は試料の全面積の 25 % 以上 50

%未満である。

4：菌糸はよく発育し、発育部分の面積は試料の全面積の50%以上である。

5：菌糸の発育は激しく、試料全面を覆っている。